

2015/12/13 みつきいホール



クリスマスパーティ



きらびやかな振り袖姿の外国人や異国情緒たっぷりのサリー姿の女性たち、総勢170名の参加者で会場は熱気であふれていました。年々増加する外国人参加者、50名以上が市民との交流を楽しみました。ステージでの外国人の自己紹介では、3日前に来日された小学生を含むシリア人家族5名も異文化の社会に溶け込もうと片言の日本語で話されました。多言語が飛び交う場内の喧騒と熱気の中で、三木市ではなく、外国にでもいるような錯覚に陥るほどでした。



会長のあいさつに続き、北井副市長と松本教育長の祝辞をいただきました。ゲストの民謡久恵会による日本の伝統芸能の三味線、櫻川南星一門による櫻川流江戸かつぼれに外国人は興味津々。そして、スペイン人のプロ大道芸人モラレス ディエス ダビさんのダイナミックなジャグリングに拍手喝采でした。着物の着付けは岩崎和子さん、サリーの着付けは中西眞佐子さん、茶席接待は長池幸子さんにご協力いただきました。司会は、会員の片山式子さん、神澤恵美さん、そしてALTのDevon MorganさんとValerie Migitaさんをお願いしました。



クリスマスパーティに参加して

A1680 ダイリン カンパーノ (フィリピン出身)

着物を着るのはとても素敵です。伝統的な特別な衣装を着ることができて、とても光栄です。

私の国、フィリピンの伝統衣装を考えると、日本の祖先の方々が、どれだけ着物を長きにわたり大切に保存してきたのかを想像できます。着物を着るのは難しいですし、とても暑かったです。

クリスマスパーティは、大成功で、このパーティを実施して下さった関係者の皆様に感謝しています。

ありがとうございました。

(※原文は英語 翻訳 A1356 三宅千賀子)

COOL MIKI

1部 英語 de 落語



「英語落語って一体どんなもの？」と興味津々の初参会の方から、「遠い大阪へ行かなくても近場で催されるので、毎年楽しみ」と言われる常連さんまで、

みなさん終始笑顔でした。今年も日本人のベテラン演者2名と外国人演者2名が熱演されました。趣向を凝らしたお座敷遊びに2部の外国人発表者が指名され、コミカルなゲームに会場の大笑いを誘いました。

最後の恒例のプレゼントタイムでは、演者のサイン入りのお菓子が数名に当たり、COOL MIKIならではの演出が好評でした。2017年の開催日、2月5日の再会を約束し、幕を閉じました。NK細胞が活性化する(?)このイベントに来年も、是非ご来場ください!

2部 日本語 de 発表

① インドネシアと日本



ラウレンシウス キキ ムスティカ
(インドネシア・スマトラ)
2013年 就労のため来日

日本には、いなかでもバスやでんしゃがあります。でも、インドネシアのいなかにはないので、みんなバイクにのります。子どもは、じてんしゃにのって バイクにのれないおじいさんやおばあさんをたすけます。インドネシアも日本のように、こうつうがはったつすればいいと思います。

② 一生懸命がんばったら幸せになれる



劉 青蘭
(中国・内モンゴル)
2014年 関西国際大学に留学のため来日

来日直後で日本語が未熟な頃、金銭的な事情からアルバイトを始めることになりました。やっと見つかったアルバイト先で知った『一生懸命頑張ったら、幸せになれる』という言葉に励まされ、就活も頑張っています。失敗しても、人生は続くので一生懸命頑張ったら、幸せになれると思います。

③ ペルーと日本



ジェラルディン ルット ペレス ブラボ
(ペルー・クスコ)
2012年 日系ペルー人の夫と来日

日本とペルーでは、いくつかのちがいがありますが、むかしから、かんけいがあります。日本人がなんべいにいじゅうしたのは、ペルーがはじめてです。私は日本にすむことがだいすきになりました。なぜなら日本はへいわで、おたがいをそんちょうしているからです。

④ 世界の平和を祈って



ホムシ ヤマン
(シリア・アレッポ)
2011年 家族とともに来日

小学6年生だった僕が一番大変だったのは、日本語を覚える事でしたが、友達や先生が助けてくれました。本当に忘れられないです。学校以外でも日本人に助けてもらいました。僕が、今、世界で一番必要と思う事は、人間同士が助け合う事です。平和な世界で、すべての人々が安心して、安全に暮らせるようになってほしいと思います。



第2部の「日本語de発表」では、ことばの教室の外国人対象の日本語教室の成果が出ていました。日本語ボランティアの方々の熱心な指導の賜物だと思います。発表者は4人とも、それぞれに立派でした。インドネシアやペルーの母国紹介によって日本との違いに気づき、改めて異文化交流の重要性を認識しました。中国人留学生は、来日直後知った「一生懸命頑張ったら幸せになれる」の一言で、言葉がわからず、辛い状況でも困難に立ち向かう力が湧いたと語りました。

特に、小学6年生で家族とともにシリアから来日したホムシ・ヤマンさんの発表には心を打たれました。シリアの崩壊目前の状況を想い、涙をこらえながら、質問をしてしまいました。若いホシムさんにとって、どう答えていいのかを困ったとは思いますが、祖国を案じるとともに日本に住み続けたいと答えてくれました。

私のように、小学2年で、日本の敗戦を迎えた者にとっては、戦争がもたらす破壊と混乱がどんなものであるかを脳裏に焼き付けられています。焼け野原の町、衣食住、すべてが欠乏、戦災孤児、占領軍、東京裁判などなど、戦いに負けるという事はこんなことなのかと、子供ながらに悔しさを抱き、なにくそ頑張るぞと、大きくなってきました。ただ、日本の場合幸運だったのは、戦後、国内で、内戦やクーデターなどが起こらず、マッカーサーの監視下ではありましたが、一つにまとまって復興とその後の発展に進むことができたことです。

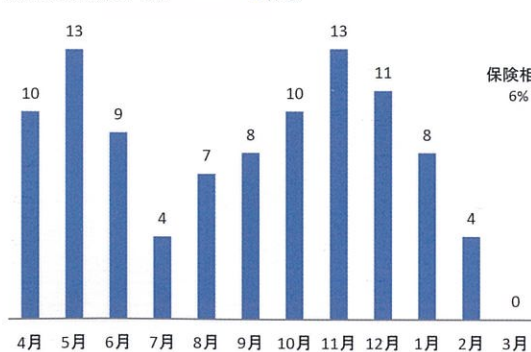
ところが、シリアや中東は違います。宗教、民族がらみで、政府軍と反政府軍、それに、ISILが絡んで混沌の中に在ります。そこに住む人々に思いを馳せるだけでは、何の助けにもなりません、想像をするだけで胸が詰まりました。

最後に、このような機会を通して、国際結婚や実習生制度などで在住する外国人住民の現状を把握し、それぞれに適した支援をすることは、将来、未来に大きく影響するのだろうと考えました。

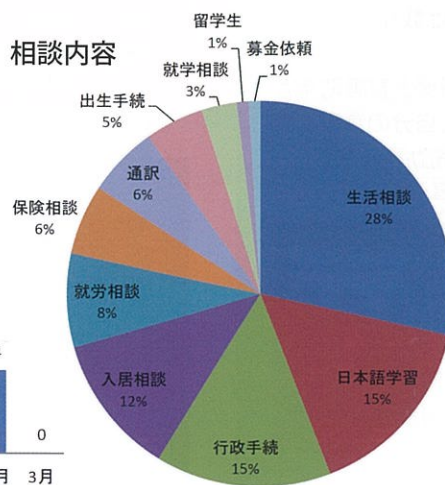
外国人のための相談窓口

4月から第2・4木曜日に窓口を開設し、約1年が経ちました。内容は、出生届けなどの書類作成や病気の際の相談まで多種多様でした。一方、企業の研修生などは日本語習得の場を求めての相談でした。開設日以外の相談もあり、件数も昨年度より大幅に増えましたので、ニーズに応じて柔軟に対応しました。

月別相談件数



相談内容



2015年度相談国別割合

国	件数	割合
フィリピン	43	46%
シリア	13	14%
ブラジル	10	11%
ペルー	6	6%
ネパール	5	5%
中国	4	4%
インド	3	3%
インドネシア	2	2%
オーストラリア	1	1%
タイ	1	1%
ボリビア	1	1%
アフガニスタン	1	1%
リトニア	1	1%
ジャマイカ	1	1%
アメリカ	1	1%
不明	1	1%

国際理解講座

人見知り看護師 海外へ行く ~ベナン・スーダン~

講師

A1632 神木 英里



青年海外協力隊看護師隊員として2011年から2年間、西アフリカベナン共和国へ、帰国後、長崎熱帯医学短期研修課程を受講され、NPOメンバーでスーダンへ行かれた体験をお話してくださいました。赴任地での過酷な環境は、スクリーンに映る滞在中の自室や勤務先の診察現場の写真から感じ取ることができました。

ベナンでは地域の保健センターに勤務、病気やけがの手当て以外に、お母さん達に離乳食の始め方、予防接種や公衆衛生の大切さを伝える活動をされていたそうで、フランス語での自己紹介から赴任地で奮闘された神木さんの逞しさが伝わってきました。ベナンやスーダンでは、平均5人出産されているそうで、母親教育や村落助産師の指導は必須。スーダンでは、道なき道を巡回クリニックとして診察されました。

そんな大変な状況でも、相手の事を知ろうとすると違いがわかり、受け入れることができるという気持ちで日々を過ごされました。「まわりにいる人を大切にすることが、世界平和につながる」というメッセージが心に響きました。

A743 神澤 恵美




Benin ベナン




雨季と乾季の2シーズンで湿度は高い。台所、トイレやシャワーは外部にある。ベッドはオーダーメイドで高額、しかも出来上がるまでには数か月かかる。蚊取り線香や虫よけは必需品。

保健センターには医師は不在で、看護師と看護助手が診察や治療を行う。仕事への意識が低く、自分の食事や買い物、昼寝を優先する。24時間から48時間勤務。

水上部落の小学校では、女の子は家事や子守のため、多くは退校する。男性はあまり勤労をせず、女性の衣類の仕立てで生計を建てる。靴かサンダルの着用で貧困度合いがわかる。




Sudan スーダン



予防接種の啓蒙、衛生や栄養、離乳食指導をする。イスラム圏ですので、女性は家の中で働き、外へは男性が行きます。首都では物価高でトイレトーパーは約1,000円。

イスラム圏の医療では、女性患者は女医が診る。



国際料理教室 タイの定番料理

講師 **Somdet Jeenkhong** 助手 **中尾将浩**
(BAAN AOMDT レストランオーナー)

「トムヤンクン」レシピ



材料 (5人分)

- ・★鶏がらスープ …………… 2.5リットル
- ・★レモングラス …………… 5本 (押しつぶしておく)
- ・★タイしょうが …………… 10cm
- ・★トマト …………… 1個 (大きめに切っておく)
- ・★こぶみかんの葉 …………… 10枚 (軽くちぎる)
- ・★パクチーの根 …………… 適量 (つぶしておく)
- ・★赤唐辛子 …………… 2本 (適当に切る)
- ・ナンプラー …………… 75ml
- ・チリインオイル …………… 大さじ5
- ・しめじ …………… 2パック
- ・紫玉ねぎ …………… 1個 (スライスしておく)
- ・えび …………… 10匹 (殻と背わたを取り、背側を開く)
- ・エバミルク (無糖練乳) …… 150ml
- ・パクチー …………… 適量 (適当にちぎっておく)
- ・レモン汁 …………… 1/2個
- ・塩 …………… 小さじ1

- 作り方**
1. 鍋に鶏がらスープを入れ、★の材料を加えて火を付け沸騰する前に中火にする。
 2. しばらくした後、袋茸、紫玉ねぎを加える。
 3. 軽く沸騰した後、えびを加える。
 4. その後、ナンプラー、チリインオイル、塩を加える。
 5. しばらくした後、エバミルク、パクチーを加える。
 6. えびに火が通ったら、火を止めてからレモン汁を加える。
 7. 器に盛り付ける。

タイ料理を受講して

A1304 堀内照子

国際料理教室は、毎年楽しみにして参加しています。今年は大好きなタイ料理ということで、ワクワクしていました。講師はレストラン経営をされているタイ人のSOMDET(サムデット)さんで、トムヤンクンや生春巻きなどを指導していただきました。トムヤンクンに入れる見たこともない香味野菜に興味津々で、色々匂いを嗅いでみて、料理する前から楽しませていただきました。また、調味料も初めて見る物もあり、とても勉強になりました。料理はとても美味しく出来上がり、タイレストランに行った気分になり、大変満足しました。来年の国際料理教室も楽しみです。

2016/2/18 中央図書館

国際理解講座 アジアの人々と触れ合って

講師 **岸 孝明**
(NPO法人ラリグラス事務局長)
三木市ユネスコ協会共催



歴史における宗教の分析から始まった講演で、東南アジアとの関わりや活動について紹介されました。見返りを求めない東南アジアや南アジアの人々の生活や信条などのお話の中で、「ネパールの赤ひげ」として活躍された故岩村昇医師の「生きるとは、分かち合う事 弱者とLIVING IS SHARING」の言葉が印象に残りました。

日本語教室 外国人のための安全講習

講師 三木警察署



定例の日本語教室に兵庫県三木警察署から3名の職員にお越しいただき、外国人向けの講習を行いました。常に自転車に乗る実習生・研修生や外国人ママ、また、車を運転する外国人が、ビデオなどで自転車走行や保険などについて説明を受けました。

「歩行者、歩道、犯罪、法律、禁止、飲酒運転」など耳慣れない単語があったものの、日本語ボランティアに確認しながらドリルで復習し、理解を深めました。

(外国人参加者21名、日本語ボランティア20名)

ホームステイを体験して

関西国際大学 留学生:孫利歆(そんりかん)
(中国出身)

私は、過去に3日間のホームステイを体験したことがあり、今回のホームステイも楽しみにしていましたが、不安もありました。日本で2年間暮らしたとはいえ、日本語はまだだです。もし、変な日本語を話したら、何か失礼なことをしたら…いろいろと心配しました。しかし、ホストファミリーの柴田さんに会った瞬間に、不安はすべて消えました。親切でフレンドリーな家族と出会えて、ラッキーでした。



初日は、三田市のめんたいパークを見学しました。そのとき、愛くん(柴田さんの息子さん)と一緒にゲームをして仲良くなりました。夕方から、聖書の勉強に行き、いろいろな人を紹介してもらいました。みなさんが幸せそうに聖書を読んでいる姿を見て、感動しました。次の日、公園で他の家庭と一緒にクッキーを作った際、私は子どもたちに中国の諺を教えたりして、楽しく過ごしました。

青山在住の私は、両隣の人を知らず寂しかったです。日本では高齢者だけで暮らし、寂しそうな日々を送っている人があると思っていました。しかし、今回のホームステイのおかげで、多くの幸せな家庭のことを知り、私も日本で家庭を作りたいと思うようになりました。私にとって、すごく貴重な思い出になりました。こんなに良い経験をさせてくれた柴田さんには本当に感謝しています。このホームステイでお世話になったすべてのみなさん、ありがとうございました!

ホストファミリー

A 1707 柴田雅成

孫さんは、とても好感のもてる学生さんでした。彼女の話では、中国の親は、子どもの言うことを聞いてくれないらしく、日本の子どもは幸せだということでした。我々の普通の生活がとても幸せに見えるそうです。日本で家庭を作りたいとも話していました。

三木市にいながら、外国人と交流し、異文化を知ることができました。感謝しています。



多文化共生理解の推進活動

北播磨在日外国人教育講座

2016/1/16 三木市立教育センター



リレートーク 外国人県民労働者と日本 ～生活者として望むこと～

話者：曹 潤貞(韓国出身)
ナーイフ アブドゥル(シリア出身)
メイコ アリフイルファン(インドネシア出身)
進行：事務局

「外国人として生きる」ということは様々な困難があります。言葉の壁、文化の違い、制度の違い等々。外国人としてひとくくりにはされてはいますが、実は外国人同士もまた違う文化で、互いに言葉の壁も存在します。また、たどたどしい日本語でも、社交辞令が分からなくても、無知や無礼なわけではないことをご理解いただければ有り難いです。

日本に来て12年目ですが、今回のリレートークで初めて自分の考えていること、困っていることを率直に話せました。参加された方たちも真剣に聴いてくださり感謝の気持ちでいっぱいです。正しい人間関係は、お互いを知ることから始まるということをご再認識できるいい機会でした。

A1166 曹 潤貞

高齢者大学講義

2016/1/28 三木市立まなびの郷みずほ



People Like Us ~身近な外国人とともに~

話者：市川 佳佳(中国出身) / 中尾 プラパッソン(タイ出身)
熊川 春美(ペルー出身) / ナーイフ アブドゥル(シリア出身)
事務局 2名

- ・MIAにおける多文化共生の状況
- ・母国紹介(中国の長春・タイ・ペルー)
- ・リレートーク…生活で困ったことなど

最初に事務局が三木市国際交流協会のいろいろな活動を紹介しました。その中で北播磨では三木市に外国人が一番多いという説明があり、やはり三木市は外国人にとって住みやすい街だと再認識しました。今回はペルー人とタイ人も参加して、母国や故郷を紹介しました。200人以上の学生が熱心に聴いてくださり、とても外国に興味があるように見えて、うれしかったです。

中国には高齢者大学はないので、年を取ると孫の世話をします。家庭中心の生活ですので、この様に集まる場所があれば良いと思います。高齢者は社会の表舞台を退きますが、社会から離れないように、皆が一緒に交流したり、勉強をしたり、「人生の第二の春」を迎えることは、とても素晴らしいことだと思いました。

A1236 市川 佳佳

三木みどりロータリークラブ会議交流会

2016/2/1

参加者：在住外国人15名(10か国) / 事務局2名
異文化交流、歓談や会食

三木ロータリークラブ会議講和

2016/2/5

People Like Us ~身近な外国人とともに~

事務局 2名



ことばの教室受講生募集

あなたの外国語学習を三木市の
国際理解・交流に活かしてください！

1回 90分

場所：三木市立教育センター
※⑭のみ三木市立吉川町公民館

1クラス定員 18名

※5名未満の場合、開講できないことがあります

申込み締切
4/15(金)まで
(先着順)

No.	クラス名	講師	日時	初回	回数	料金	内容		
1	英会話 実用	Samantha Chang	月・19:00	5/9	年間 30回	会員30,000円 一般32,000円	会話力のブラッシュアップ		
2	韓国語 初級	崔英叔	火・19:00	5/10			初級・中級学習者(テキスト有)		
3	韓国語 中級	橘田ソレイブ					日常会話・リスニング(テキスト有)		
4	英会話 中級	Valerie Migita	日常会話(英検準2級程度)						
5	英会話 初級	Devon Morgan	水・19:00	5/11			日常会話(英検3・4級程度)		
6	英会話 入門	新田俊子	木・10:00	5/12			入門・初級学習者(テキスト有)		
7	英会話 初級	Clayton Wildy	木・19:00	5/13			日常英会話(英検準2・3級程度)		
8	中国語 初級	外国人講師	金・19:00				5/13	初級・中級学習者(テキスト有)	
9	スペイン語 初級	Cristian Castanedo		日常会話(テキスト有)					
10	英語表現活動【隔週】	河越 恭子	第1・3・5金10:00	5/20			年間 15回	会員15,000円 一般17,000円	朗読・チャンツなど応用(テキスト有)
11	News in English【隔週】	倉橋 哲雄	第2・4水・19:00	5/11			年間30回	無料(年会費2,000円)	英語ニュースの聴解・読解など
12	日本語全般【外国人対象】	ボランティア	月・19:00	5/9			10回	会員10,000円 一般12,000円	会話の練習・読み書き(ペア学習)
13	英会話初・中級【短期】	Clayton Wildy	土・13:30	5/14			日常会話(英検3級程度)		
14	英会話初級【短期】	戸田 昌樹	水・19:00	5/11			日常会話(英検3・4級程度)		

※当協会に入会し、会員となる場合は会員の料金(年会費2,000円込)、入会されない場合は一般の料金となります。

※受講料は講座初日をお願いします。納められた受講料はお返しできませんのでご了承ください。

※各教室の見学はお断りしていますのでご了承ください。

●申込み・問合せ●

三木市国際交流協会
三木市上の丸町10-30 市民協働課内
Tel.0794-89-2318

日本語クラス 全3回シリーズ ボランティア育成研修会

4月11・18・25日(月) 18:30~20:30

*研修後は、日本語教室のボランティア登録をお願いします

ことばの教室では、外国人のための日本語教室を定期開催しています。この研修会では、外国人が生活する上で必要な日本語の教え方などを学びます。異文化交流を通して、外国人支援をしませんか。

設立20周年総会・記念講演



「笑いで世界をひとつに」
6/11(土)
ダイアン 吉日
バイリンガル落語家

外国人のための相談窓口 要予約

●日時●
第2・4木曜日
13:00~16:00

●内容●
生活に関すること全般(英語)
*その他の言語は要相談



FM みつきい放送

毎月第1火曜12:15~
外国人の日本語スピーチ、
子ども英語、
多言語による情報提供(夏まつりなど)

コロナ市民訪問団が
3月21日出発します!

編集あとがき



当協会は2016年度に20周年を迎えます。設立時に数名の外国人向けに始めた日本語支援が、今では13か国の外国人学習者約60名となりました。母親と一緒に子どもさんや家族全員が学習する姿も見えます。

三木市在住外国人は昨年より160人増加し、1,110人となりました。企業への実習生・研修生はもとより、国際結婚や知り合いを頼りに来日するケースも増えています。地域の学校には、馴染みのない日本語習得に努力する外国人児童や学生が増加し、子どもたち同士が助け合うことで交流が生まれています。

「外国人が住みよいまちは、日本人も住みよい。」国籍や民族に拘らず、誰もが平等に安全に暮らし、多文化共生を推進するためには、お互いを気遣う事だということを心に留め、活動を続けてまいります。20周年という節目の年に皆様のご協力を切にお願いします。今年度もありがとうございました。

編集・発行

三木市国際交流協会

Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30(市民ふれあい部 市民協働課内)

TEL(0794)89-2318

FAX(0794)82-9755

【E-mail】kokusai@city.miki.hyogo.jp

【HP】